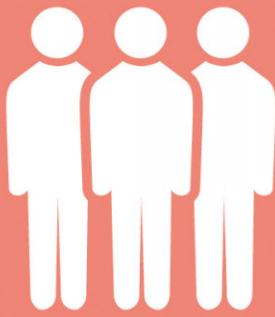


国公立大学と同程度の学費で  
医師への道を目指せます



## 修学資金制度の ご案内

東北医科薬科大学なら、定員100名中55名が  
修学資金制度による  
経済的支援を受けられます。





医学科 4年 後藤 匡範  
横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 卒業  
修学資金A方式 宮城県枠 合格

8年前、東日本大震災の被災地の様子をテレビや新聞で見る度に困っている人たちに対して何もできない自分をもどかしく思っていました。このことから自分が将来、総合診療医になれば災害時だけでなく、いつでも人の助けになることができると思い、災害医療や地域医療を学ぶことのできる東北医科薬科大学に入学しました。また修学資金制度があり、経済的な負担が少なく医学を学ぶことができるることも決め手となりました。災害医療実習ではDMAT(災害派遣医療チーム)の方からのお話を聞き、当時の様子や実際の現場では医療連携だけではなく、行政や全国の支援スタッフとの連携が重要であることを知りました。病院体験では医師が患者さんの生活背景も踏まえて診療方針と一緒に考える様子を見学して、自分も患者さんの気持ちを理解し、心のサポートもできる医師になりたいと思うようになりました。

父は医師なので、幼い頃から父の背中を見て、医学部に入りたいと強く思うようになりました。4年生になってからは今まで学習してきたことをアウトプットしていく授業が多くなりました。毎日失敗だらけですが、同期の仲間から考え方や知識を学んだり、自分で学び直したり刺激が多く、とても楽しいです。今年度後期から病院実習が始まりますが、実習で学んだことは一つ一つ自分のものにしていきたいです。そして、将来は患者さんがなんでも話すことができて、小さな悩みも打ち明けられる父のような医師になりたいです。修学資金を利用することができたので、将来は地元である山形の病院に勤務し、地域に貢献したいです。また昨年ボランティアで参加した宮城県主催による1型糖尿病の子供達のサマーキャンプで、たくさんの子供達が一生懸命病気と向き合う姿を目の当たりにし、子供達やお母さん達を笑顔にできる医師になりたいと思うようになりました。

医学科 4年 稲村 江里子  
山形県立山形東高等学校 卒業  
修学資金A方式 山形県枠 合格



地域医療、災害医療教育など立地条件を活かした独自の教育プログラムを提供します。

### 参加型臨床実習

#### 医学教育分野別評価基準準拠

- 2年間の診療参加型臨床実習  
(クリニック・クラークシップ)

#### 地域滞在型の地域医療教育

- 石巻・登米 地域医療教育  
サテライトセンター
- 地域医療ネットワーク病院

#### 滞在型体験学習

### 医学教育

モデル・コア・カリキュラム

### 災害医療を学ぶ

#### 特色のある災害医療教育

- 被災地 石巻地域医療教育  
サテライトセンターの活用
- 独自の放射線生体影響の教育

#### 地域医療を担う総合診療力の育成

- 地域総合診療実習
- 地域包括医療実習
- 総合診療学演習

#### 薬学の基礎知識を学ぶ

# 修学資金制度の特長

本学医学部は、東北の地域医療を支える医師の養成と定着を目的としているため、東北の地域医療に貢献しようとする高い志を持った学生を、経済的に支援するための修学資金制度が充実しています。

1

## 修学資金制度

**A方式** の場合、**3000万円** が学費として貸与。

## 修学資金制度

**B方式** の場合、**1500万円 + 約1100万円～** 各県の修学資金 \*  
が学費として貸与。

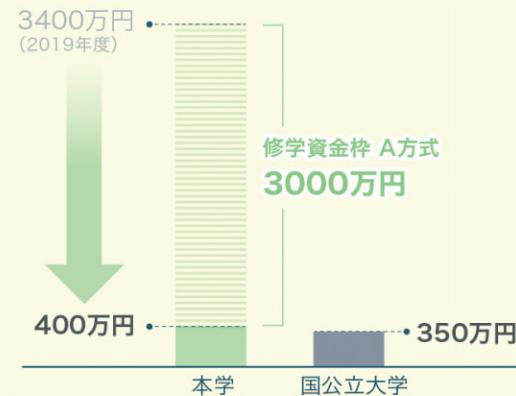
2

## 国公立大学と同程度の学費に。

国公立大学の医学部の平均学費(6年間)は350万円程度と言われています。

本学医学部の学費は、6年間で3400万円かかりますが、修学資金制度のA方式の場合、3000万円が学費として貸与されるので、400万円程度となり国公立大学と同程度の学費で学ぶことができます。

※B方式の場合、各県の修学資金制度によって貸与額が異なります。



3

## 医学部の定員100名のうち**55名**が対象です。

### A方式

勤務地	宮城県 宮城県以外の東北5県	30名 5名
-----	-------------------	-----------

### B方式

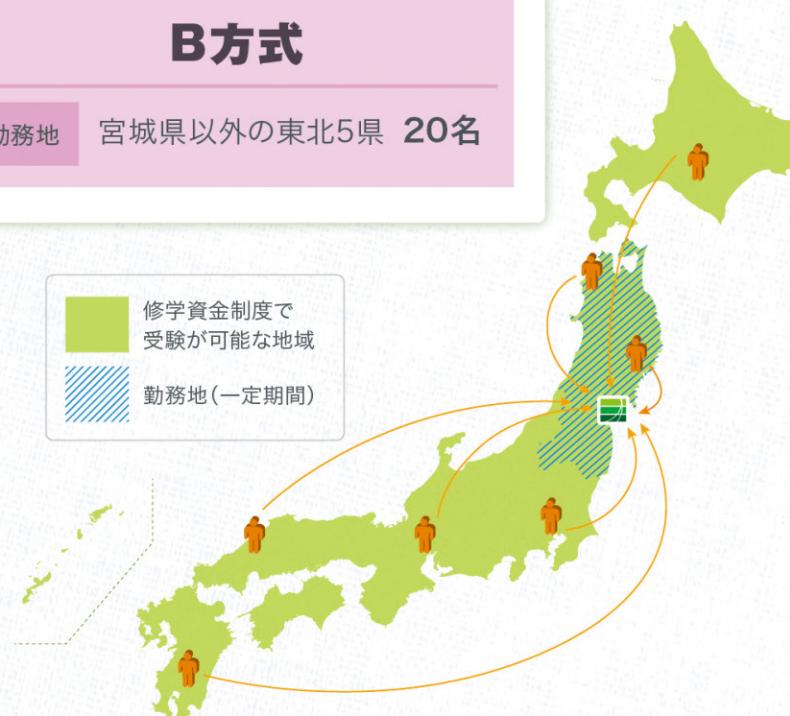
勤務地	宮城県以外の東北5県	20名
-----	------------	-----

4

## 全国から受験可能です。

本学の「修学資金制度(A方式・B方式)」は「地域枠」とは異なり、全国どの居住地であっても志願することができます。

※B方式では、各县の修学資金制度と併用するため、それぞれの県によって独自の条件があります。希望する県の制度を確認してください。



5

## 貸与金額全額が返還免除に。

本学の修学資金制度は、卒業後に医師として東北の地域医療に一定期間従事することで、貸与金額全額が返還免除となる制度です。



### A方式

貸与額(6年間)

**3000万円**(500万円／年)  
他の自治体の医学生修学資金との併用は不可

1

#### 東北地域医療支援修学資金 宮城県

※クウェート国からの宮城県に対する支援金を原資としています。

定員数

**30名**

返還免除条件

宮城県知事が指定する医療機関等に**10**年間勤務すること  
(初期臨床研修期間の2年間を含まない)

2

#### 東北地域医療支援修学資金 宮城県以外の東北5県

※本学が出資しています。

定員数

**5名 (各県1名)**

返還免除条件

宮城県以外の東北5県で医療機関等に**8~10**年間勤務すること  
(初期臨床研修期間の2年間を含まない)

### B方式

貸与額(6年間)

**1500万円  
+ 約1100万円～**本学の修学資金  
(250万円／年)  
各県の修学資金 \*  
1年次での応募が必要です

\*各県の修学資金は各県の審査によるものであり、貸与が保障されているわけではありません。

#### 東北地域医療支援修学資金 宮城県以外の東北5県

定員数

**20名**

返還免除条件

宮城県以外の東北5県で医療機関等に一定期間勤務すること  
**(9)**年程度。義務年限は各県の修学資金制度により定められている

※希望する県の修学資金制度に採用されなかった場合は、必ず他の応募可能な県の修学資金制度に応募いただきます。  
そのうえで各県の制度に採用されず本学の修学資金(1500万円)のみとなった場合、宮城県以外の東北5県  
いずれかの県で医療機関等に**6**年間勤務すること(東北各県で初期臨床研修を行う場合には期間に含める)

#### 各県の特徴

各県の詳しい情報は、それぞれのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.tohoku-mpu.ac.jp/medicine/contents/scholarship/>



## 東北の地域医療を支えながら、自らのキャリアアップも実現できます。

初期臨床研修後、設定された期間、東北の医療に従事することにより、返還免除となります。

この期間中は1施設だけでなく、様々な医療機関で勤務するためそれぞれの医療機関の長所を活かした医師としての経験を積むことができます。





<仙台までの所要時間>

**新幹線** 新函館北斗 — 仙台(約2時間30分)  
新青森 — 仙台(約1時間50分)  
東京 — 仙台(約1時間40分)

**空路** 札幌(千歳) — 仙台(約1時間10分)  
成田 — 仙台(約55分)  
名古屋 — 仙台(約1時間10分)  
大阪(伊丹) — 仙台(約1時間10分)

大阪(関西) — 仙台(約1時間20分)  
福岡 — 仙台(約1時間40分)  
那覇 — 仙台(約2時間50分)



## ACCESS MAP

**小松島キャンパス**  
<薬学部> <医学部>

〒981-8558  
仙台市青葉区小松島4丁目4番1号

[市バス] JR仙台駅西口 17番 →  
東北医科薬科大・東北高校前から徒歩1分  
[JR仙山線] JR仙台駅 → 東照宮駅から徒歩15分

**福室キャンパス**  
<医学部>

〒983-8536  
仙台市宮城野区福室1丁目15番1号

[市バス] JR仙台駅前 アイリス青葉ビル前 50番  
→東北医科薬科大学病院入口から徒歩3分  
[宮交バス] JR仙台駅前 アイリス青葉ビル前 50番  
→陸前高砂駅から徒歩7分  
[JR仙石線] JR仙台駅 → 陸前高砂駅から徒歩7分

附属病院

●東北医科薬科大学病院 ●東北医科薬科大学 若林病院 ●東北医科薬科大学 名取守病院

 **東北医科薬科大学**  
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

<医学部> ●医学科[6年制]  
<薬学部> ●薬学科[6年制] ●生命薬科学科[4年制]  
<大学院> ●薬学研究科

〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島4丁目4番1号  
TEL:022-234-4181 FAX:022-275-2013

<http://www.tohoku-mpu.ac.jp>